

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況および効果検証

No.	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
合計						423,964,730	305,321,000		
1	感染拡大防止協力金事業	①②③休業要請に応じた飲食店等に対し協力金を支給 31件×300,000円＝9,300千円 ④飲食店・スナック・遊興施設	産業経済課	R2.4	R2.5	9,000,000	9,000,000	申請件数:30件 交付額:9,000,000円	新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、休業協力事業者に給付金を支給することで、町内の感染防止および事業者への下支えを行えた。
2	対策支援金事業	①②③感染防止対策を実施する、食料品を取り扱う小売業者に対し支援金を支給 12件×200,000円＝2,400千円 ④食料品を取り扱う小売業者	産業経済課	R2.5	R2.5	2,400,000	2,400,000	申請件数:12件 交付額:2,400,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた事業者に給付金を支給することで、経済的な支援および事業継続につながった。
3	事業継続応援助成金事業	①②③休業要請の対象ではないが感染拡大の影響を受けた、食料品を取り扱っていない個人事業主や中小企業に対し事業継続助成金を支給 100,000円×160件＝16,000千円 農業者40名、漁業者30名 70名×100,000円＝7,000千円 計23,000千円 ④休業要請をしておらず、食料品を取り扱っていない個人事業主や中小企業および農業者、漁業者	産業経済課	R2.5	R2.6	21,200,000	21,200,000	申請件数:212件 交付額:21,200,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた事業者に給付金を支給することで、経済的な支援および事業継続につながった。
4	学校休校による子育て世帯生活支援事業	①ー ②ー ③生活支援のため、町内小・中・高等学校の児童生徒及び未就学児童等がいる世帯に対し、道南産米「ふっくりんこ」を配布 300人×1,900円＝570千円 それに伴う事務費130千円 ④町内の高校生以下の児童、生徒、未就学児童等の保護者	生涯学習課	R2.5	R2.6	650,200	600,000	支給数:293人@1900円＝556,700円 配送料:170世帯×550円＝93,500円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた子育て世帯にお米を支給することで、経済的な支援および米農家への支援につながった。
5	避難所資器材整備事業	①②③避難所に指定している公共施設での感染機会の削減を図るため、抗菌仕様の毛布、3密を防ぐための段ボールベッド等の必要な資材を導入する。 毛布10,000円×100枚＝1,000千円、段ボールベッド2,000円×400台＝800千円、パーテーション100,000円×30セット＝3,000千円、消毒液・マスク等一式200千円 ④木古内町	総務課	R2.7	R2.9	4,738,580	4,500,000	マスク12,000枚 アルコール消毒液20ℓ 毛布250枚 間仕切り30セット 工業用扇風機6台 体温計18個 段ボールベッド130個	避難所内でのあらゆる感染症への備えができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
6	観光交流センター（道の駅）感染拡大防止事業	①多くの方が訪れる観光交流センター（道の駅）において、飛沫感染防止のため、多目的ホールに仕切りを設置するほか、人の密集を防ぐため、パンフレット等を設置する棚を増設する。 また、当町を含めた広域連携を行う9町の特産品を扱う通信販売サイトを立ち上げることで、観光交流センター（道の駅）における人の密集を避けるとともに、地域経済の活性化に資することを目的とする。 ②感染防止のための備品購入、通信販売サイト管理費 ③備品購入費700千円、維持管理費200千円 ④－	まちづくり新幹線課	R2.4	R3.3	874,000	700,000	アクリルプレート・ロールスクリーン 設置一式：52,000円 ホームページ作成費：135,000円 間仕切り版・陳列棚 設置一式：687,000円	施設内での感染防止と新たな販売方法の確立を行えたことにより施設の事業継続につながった。
7	上水道料金軽減事業	①新型コロナウイルス感染症拡大により、在宅時間の長期化で家庭の使用量が増加することに伴う経済負担の軽減や売上減少により事業継続が厳しい事業者等の経済活動を支援するため。 ②木古内町簡易水道事業会計に繰り出し、すべての給水契約者の3か月分の基本料金及びメーター使用料の全額免除に係る費用。 ③すべての給水契約者の基本料金及びメーター使用料の全額免除を3か月分。 水道料金（基本料のみ） 14,800千円 メーター使用料 2,100千円 ④町内全世帯	建設水道課	R2.5	R2.7	16,699,826	16,600,000	令和2年5～7月実施	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、休校等により在宅時間が長引くことから水道料の免除を行い経済的な支援につながった。
8	在宅フレイル対策推進環境整備事業	①－ ②－ ③外出自粛の状況下で、在宅でのフレイル対策のため、保健師等専門職の移動方法として車両を1台購入し、整備することにより、早期対処や接触者の限定などの感染拡大予防につなげる。自動車メーカー2社の見積価格の平均値 2,400千円 1台 ④－	保健福祉課	R2.6	R2.12	1,809,643	1,800,000	車両購（1台）1,809,643円	保健師同士の感染拡大および保健師が勤務する施設内での感染を防止できた。
9	布マスク配布事業	①－ ②－ ③布マスクの作成業務委託料：4,200千円 包装のための需用費：100千円、郵送料：800千円 ④町内全世帯	保健福祉課	R2.5	R2.6	4,517,271	4,500,000	配布世帯数：1,996世帯 @200円×作成数21,000枚 役務費：317,271円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、マスクが品薄になる中でマスク配布を行い家庭内および町内の感染防止につながった
10	中小企業振興融資対策事業	①②③町内事業者の経営安定を図るため、融資に係る保証料及び利子を支援 保証料：163,875円、利子補給：82,500円 各16件≒保証料合計：2,622千円、利子補給合計：1,320千円 ④融資を受ける事業者	産業経済課	R2.4	R3.1	1,892,640	1,800,000	運転資金17件、55,000千円 うち信用保証料分1,520,854円 利子補給：13件 利子補給額：371,786円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた事業者に給付金を支給することで、経済的な支援および事業継続につながった。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
11	学校給食関連事業者支援事業	①— ②— ③休校に伴う加工費用の減収分171,891円×補てん率90% =154,702円≒155千円 ④学校給食調理事業者	生涯学習課	R2.4	R2.5	154,700	100,000	1事業者100,000円	休校に伴う費用を補てんする事で事業者の経営維持につながった
12	図書館感染拡大防止事業	①— ②— ③図書館の図書除菌ボックス購入300千円×3台=900千円 ④—	生涯学習課	R2.6	R2.6	825,000	800,000	3台@275,000円	除菌ボックス導入により、図書館のサービス維持および利用者の安心につながった
13	小中学校ICT教育推進事業	①②新たな生活様式の確立に向け、小中学校のインターネット環境整備と、児童・生徒に対して一人1台端末を整備し、教育のICT化を図る。 ③通信料:85千円、工事費:19,360千円、タブレット購入費:18,019千円、計37,464千円 国庫補助対象経費12,840千円 義務教育債6,200千円 その他地方負担分18,424千円 ④町内小中学校	生涯学習課	R2.7	R3.3	37,463,096	17,200,000	モバイルWi-Fi10台 84,766円 LAN配線等取付工事19,360,000円 タブレット199台18,018,330円	新たな学習方法の確立と休校等の際に端末の持ち帰りを行うことで、学校からのオンライン授業が可能となり、児童生徒の学びの保障に寄与した。
14	木古内町スポーツセンター換気システム設置事業	①②感染拡大を防ぐため、建具を取替えて換気システムを向上する ③建具改修:41か所37,000千円、管理費:11,000千円 合計額:48,000千円 ④木古内町	生涯学習課	R2.7	R2.12	53,900,000	45,000,000	建具改修:41か所42,900千円、 管理費:11,000千円	在宅時間が長引いたことによる運動不足の解消が図られ、町民の健康維持に寄与した。
15	木古内エール商品券配布事業(第1弾)	①②③町民への生活支援及び地域経済の活性化を図るため、全町民に対し、町内事業所で使用できる商品券10千円分を配布 商品券費:4,000人×10千円=40,000千円、 役務費:1,040千円、 事務費等:1,060千円 合計:42,100千円 ④全町民	産業経済課	R2.7	R2.11	40,953,069	40,900,000	郵送件数2,163件 1,034,000円 発行数1万円分3,989枚 事務手数料等29,069円	町内で39,890,000円の消費喚起があり、町民の家計の下支えおよび町内事業者の経営安定に寄与した。
16	木古内町失業者生活支援助成金事業	①②③新型コロナウイルス感染症の影響で失業を余儀なくされた町民に対し、生活支援することを目的とし、助成金10万円を交付 30名×100千円=3,000千円 ④新型コロナウイルス感染症の影響により失業した町民	町民課	R2.7	R3.3	100,000	100,000	申請件数:1件 交付額:100,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、失業者に給付金を支給することで、経済的な支援につながった。
17	木古内町新生児エール事業	①②③新生児を抱える世帯の経済的負担を軽減するため、特別定額給付金の基準日(4月27日)の翌日以降生まれた新生児に対して、町独自で給付金10万円を給付 10名×100千円=1,000千円 ④令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれ、新たに木古内町に住民登録をする新生児の保護者	町民課	R2.4	R3.3	800,000	700,000	申請件数:8件 給付額:800,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、新たに子育てを始める世帯の経済的な支援につながった。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
18	木古内町産業会館感染防止事業	①②感染拡大防止のため、産業会館各フロアの窓口にロールスクリーンを設置する ③ロールスクリーン 37基 * 16,000円=592,000円 10基 * 12,000円=120,000円 取付諸経費一式288,000円 計1,000千円 ④木古内町	建設水道課	R2.8	R2.10	923,978	900,000	ロールスクリーン 1200(W)*2000(H)37台 × 16,000円 = 592,000円 600(W)*1800(H)10台 × 12,000円 = 120,000円 諸経費: 211,978円	施設内での感染防止と利用者の安心につながった。
19	児童福祉施設等従事者支援事業	①②③新型コロナウイルス緊急事態宣言の期間に子どもの保育や支援を行った私立保育所や学童クラブの職員に対し、慰労金として1人50千円を給付 30名 × 50千円 = 1,500千円 ④私立保育所や学童クラブの職員	町民課	R2.8	R2.10	1,450,000	1,400,000	申請件数: 29件 交付額: 1,450,000円	感染リスクの高い職種に慰労金を支給することで、人員の確保および事業所のサービス維持に寄与した。
20	町内イベント等における安全・安心確保事業	①②感染拡大防止や発熱者の早期発見のため、体温計、サーマルカメラを購入する。 ③非接触体温計: 15個 × 13,200円 = 198千円 サーマルカメラ: 2台 × 750,000円 = 1,500千円 サーマルカメラ: 2台 × 400,000円 = 800千円 合計: 2,498千円 ④木古内町	保健福祉課	R2.8	R2.9	2,473,141	2,400,000	非接触体温計: 15個 × 13,200円 = 198,000円 サーマルカメラ: 2台 × 737,830円 = 1,475,661円 サーマルカメラ: 5台 × 159,896円 = 799,480円	施設内での感染防止と利用者の安心につながった。
21	健康管理センター空調整備事業	①②健康管理センター内の冷房設備を設置し環境整備を図ることにより、高齢者や乳幼児を含む事業参加者の体調悪化を防止 ③冷房機取付工事一式: 4,300千円 ④木古内町	保健福祉課	R2.8	R2.9	2,948,000	2,900,000	冷房機取付工事一式: 2,948千円 設置数: 1台	施設内での感染防止と利用者の安心につながった。
22	新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援事業	①②感染者に医療提供する医療機関に対し支援金を交付し、危険手当の支給などの感染症対策に係る経費を支援 ③新型コロナウイルス感染症患者に診療等を行った医療機関等: 5,000千円 × 1医療機関 = 5,000千円 ④対象医療機関	保健福祉課	R2.8	R2.9	5,000,000	5,000,000	申請件数: 1件 交付額: 5,000,000円	感染リスクの高い病院に支援金を支給することで、人員の確保および事業所のサービス維持に寄与した。
23	声かけ訪問世帯への花き配付事業	①②新型コロナウイルス感染症に対する不安や外出自粛等によるストレスの緩和を図ることを目的に、声かけ訪問の対象世帯に花を配付 ③400円 × 250世帯 = 100千円 ④声かけ訪問の対象全世帯	保健福祉課	R2.8	R2.9	90,400	90,000	配布世帯数: 226世帯 単価400円	新型コロナウイルス感染症に対する不安や外出自粛等によるストレスの緩和を図ることができた。
24	消防署資器材整備事業	①②③救急車等での感染機会の削減を図るため、必要な資材を導入 マスクや防護衣等の備品購入費: 1,500千円、 感染防止衣や毛布等の資器材費: 3,700千円 合計 = 5,200千円 ④木古内消防署	木古内消防署	R2.4	R3.3	5,016,095	5,000,000	フェイスマスク等購入費 3,531,095円 救急サポートウェア購入費 1,485,000円	感染リスクの高い消防署職員の安全管理と救急サービス維持に寄与した。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
25	「木古内エール・トラベルクーポン」事業	①②町内の消費拡大、地域経済の活性化を図るため、町内の宿泊者に飲食店等で使用できるクーポン3千円分を配布 ③3千円×1,200泊分=3,600千円 印刷製本費等400千円 合計：4,000千円 ④木古内町観光協会	産業経済課	R2.7	R3.3	3,953,000	3,900,000	配布数：3,723泊分 事務手数料：230,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた事業者で利用できるクーポンを発行することで事業者の経済的な支援および事業継続につながった。
26	「木古内エール・スタンプビンゴラリー」事業	①町内飲食店等をめぐるスタンプラリーを実施し町内回遊を促し地域の活性化を図る ②賞品費、印刷製本費、スタンプ費等 ③賞品費：500千円 印刷製本費：210千円 スタンプ費：100千円 事務費等：290千円 合計：1,100千円 ④木古内町観光協会	産業経済課	R2.8	R3.3	988,746	800,000	申請件数：53件 988,746円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた事業者で回遊するスタンプラリーを実施し事業者の経済的な支援および事業継続につながった。
27	木古内町学生等就学エール事業	①②新型コロナウイルス感染症で家計の急変等の経済的理由により、就学の継続を断念することのないよう、住民基本台帳登録者に扶養されている18歳以上の学生に対し、30千円の電子マネー等を給付 ③30千円×80人=2,400千円 事務費等：100千円 合計：2,500千円 ④住民基本台帳登録者に扶養されている18歳以上の学生	生涯学習課	R2.7	R2.9	1,729,402	1,700,000	申請57件 交付額：1,710,000円 郵便料19,402円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、家庭の収入の減少により就学の継続を断念することのないよう、電子マネーを支給し、対象学生の就学の継続および対象学生を支える家庭への経済的な支援につながった。
28	渡島西部4町地域間幹線系統木古内松前線維持奨励金事業	①休校等により運輸収入が減少している木古内松前線路線バスに対し、国庫補助対象外経費を補助 ②国庫補助対象外経費に対する補助 ③10,000千円×当町負担率25%=2,500千円 ④函館バス株式会社	まちづくり新幹線課	R2.9	R3.3	2,500,000	2,500,000	函館バスへの負担金 2,500,000円	負担金を給付したことで、町民の生活路線を減便や運休を防いだ。また、事業者の経営安定に寄与した。
29	学校施設環境改善空調整備事業	①②感染拡大防止のため、小中学校の普通学級・特別支援学級・保健室への換気システム付エアコンを設置する ③小学校10台：31,500千円、中学校7台：24,500千円 合計額：56,000千円 ④木古内町	生涯学習課	R2.7	R3.4以降	46,959,000	46,900,000	小学校10台27,500,000円 中学校7台19,459,000円	施設内での感染防止と児童生徒の安心につながった。
30	一般旅客自動車輸送事業者支援事業	①②③町独自の休業要請や緊急事態宣言により事業に影響が出ているハイヤー・タクシー事業者に対し、事業継続を支援するため1台あたり100千円の支援金を支給 4台×100千円=400千円 ④ハイヤー・タクシー事業者	まちづくり新幹線課	R2.9	R2.11	400,000	300,000	申請台数：4台 交付額：400,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた事業者に支援金を給付し経済的な支援および事業継続につながった。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
31	町内緊急雇用対策事業	①②緊急雇用対策として会計年度任用職員の採用 ③会計年度任用職員の規則に従い積算 1,300千円 (施設作業員1名分) ④木古内町	建設水道課	R2.8	R3.3	1,060,804	1,000,000	採用日:令和2年9月14日 人数:1名 報酬:898,000円 共済費:162,804円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で失業・転職があった中で新たな雇用を行えた。
32	学習特別支援員配置事業	①②③新型コロナウイルスの感染拡大により休校した小中学校に対し学習特別支援員を配置し、生徒児童の学習向上を図る 学習特別支援員:5名分×12か月×100千円=6,000千円 ④学習特別支援員5名	生涯学習課	R2.4	R3.3	6,186,477	5,000,000	小学校配置3名 中学校配置2名	休校に伴う学習の遅れ解消により、児童生徒の学びの保障に寄与した。
33	漁業者チャレンジ応援補助事業	①②③飲食店等の休業により、仕入れなどが落ち込んだことから各漁家では所得等に影響が及んでいる。そのため経営改善に向けた機器導入に係る経費を補助し、各漁家を支援する 町内漁家:5件×3,000千円=15,000千円 ④町内漁家	産業経済課	R2.6	R3.3	15,848,500	9,000,000	ウニ種苗購入:2,625,000円 アワビ種苗購入:525,000円 ナマコ種苗購入:375,000円 ホタテ種苗購入:161,000円 カキ種苗購入:209,000円 漁具更新等 申請12件 交付額7,981,000円 監視灯整備3,302,500円 ウェブサイト導入費 670,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた事業者に支援金を給付し経済的な支援および未来への投資に寄与した。
35	無線システム普及支援事業費等補助金	①情報通信基盤を町内全域に整備することで、情報通信格差解消、情報通信技術を活用した地域の課題解決、人口減少がもたらす社会変化に対応した持続可能な地域社会の構築を目指す ②③光ファイバケーブル約53km:48,928千円 電柱新設204本:27,228千円 管路新設等13,971千円 総事業費:90,127千円 国庫補助額:30,042千円 事業者負担額:30,043千円 交付金対象額30,042千円 うち24,034千円に対し新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当 残額6,008千円は過疎債充当 ④設置事業者	まちづくり新幹線課	R2.10	R4.3	90,127,000	24,034,000	光ファイバケーブル約53km:48,928千円 電柱新設204本:27,228千円 管路新設等13,971千円 総事業費:90,127千円	GIGAスクール構想と連動して事業実施したことにより、児童生徒の家庭での学びの保障に寄与した。また、町内の光回線カバー率も100%にすることができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
36	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために本来開所していない部分においての開所する経費の補助を行う。 ②小学校の臨時休業により、本来開所していない時間における補助 ③国庫補助額:52千円 道補助額:52千円(その他財源) 町負担分:52千円に対し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当 ④学童クラブ	町民課	R2.4	R3.3	111,000	37,000	時間外分 @1,450円×1H=1,450円 日給分 @1,170円×93H=108,800円	サービス提供を行うことで、保護者の負担軽減を図れた。
37	学校臨時休業対策費補助金	①学校給食調理事業者に対し、新型コロナウイルス感染症にかかる衛生管理の徹底を図るための衛生関係消耗品の購入に必要な経費を補助 ②衛生管理改善事業として購入する衛生関係消耗品費300千円 ③300千円のうち2/3が国庫補助対象 ④学校給食調理業者	生涯学習課	R2.4	R2.7	300,000	100,000	1事業者100,000円	児童生徒への感染予防につながった。また、施設内での感染拡大も防ぎ、給食の安定供給にも寄与した。
38	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①②学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるために購入する保健衛生用品等の購入 ③補助対象経費1人あたり340円 木古内小110人×340円=37,400円×1/2補助=18,000円 木古内中65人×340円=22,100円×1/2補助=11,000円 ④町内の小中学生	生涯学習課	R2.4	R3.3	59,136	30,000	【小学校】 キッチンタオル・除菌シート 15,645円 ビニール手袋・マスク 21,485円 【中学校】 マスクプレーボトル 22,006円	施設内での感染防止と児童生徒の安心につながった。
39	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①②学校における感染症対策等支援および学習保障支援としての消耗品および備品購入 ③木古内小1,024千円:消耗品316千円 備品708千円 木古内中1,033千円:消耗品534千円 備品499千円 計2,057千円のうち1/2(1,028千円)が国庫補助対象 ④小学校:1校、中学校:1校	生涯学習課	R2.4	R3.3	2,071,256	1,029,000	【小学校】 扇風機28台、消毒器20台 518,410円 消毒液・ハンドソープ 196,397円 洗濯機・掃除機等 313,170円 【中学校】 扇風機23台・仕切り板20枚 442,011円 消毒液・ハンドソープ 197,128円 洗濯機・掃除機等 404,140円	施設内での感染防止と児童生徒の安心につながった。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
40	木古内エール商品券配布事業(第2弾)	①②③町民への生活支援及び地域経済の活性化を図るため、全町民に対し、町内事業所で使用できる商品券10千円分を配布 商品券費:4,000人×5千円=20,000千円、 事務費等:1,921千円 合計:21,921千円 ④全町民	産業経済課	R2.12	R3.2	21,039,134	20,500,000	郵送件数2,156件 951,634円 発行数5千円分3,973枚 事務手数料等222,500円	町内で19,865,000円の消費喚起があり、町民の家計の下支えおよび町内事業者の経営安定に寄与した。
41	町内レンタカー事業者支援事業	①②経営に多大な影響を受けている町内レンタカー事業者を支援するため、支援金を交付する。 ③1台あたり100千円×15台=1,500千円 ④町内レンタカー事業者	まちづくり新幹線課	R2.12	R3.3	1,300,000	1,000,000	申請台数:13台 交付額:1,300,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、収入の減少により損害を受けた事業者に支援金を給付し経済的な支援および事業継続につながった。
42	木古内町薬師山芝桜環境整備事業	①②新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う活動自粛等により観光客が減少している薬師山について、芝桜の植栽や環境整備を行うことで、収束後の観光地としての魅力の増強を図る。 ③芝桜3,000株の植付等 事業者への委託料 8,700千円 ④はこだて広域森林組合	産業経済課	R2.4	R2.7	8,470,000	-	-	-
43	飛沫感染防止事業	①②宿泊業および飲食業を営む事業者に対し飛沫感染を予防する備品購入費を支援する。 ③1事業者あたり上限額100千円×31事業者=3,100千円 ④町内宿泊業および飲食事業者	産業経済課	R2.6	R3.3	1,483,000	1,100,000	申請件数:24件 交付額:1,483,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で感染拡大防止する事業に補助金を給付することで消費者の安全利用および事業者の事業継続につながった。
44	ブランド牛町内消費事業	①②新型コロナウイルス感染症の拡大により町内飲食事業者は多大な影響を受けている。それに伴い町のブランド牛である「はこだて和牛」の消費も落ち込んでいるため、「はこだて和牛」消費拡大と町内事業者への支援を目的に、町内の飲食店事業者が「はこだて和牛」を購入する際に補助を行う。 ③1頭あたり650千円×4.5頭=2,925千円 財源:まちづくり応援基金923千円 ④町内飲食店	産業経済課	R2.4	R3.3	2,632,500	-	-	-
45	介護職員初任者研修事業	①②新型コロナウイルス感染症の感染拡大により離職を余儀なくされる方もいるため、介護分野を新たな雇用の場として確保できるよう人材育成および人材確保に向け、介護知識および介護技術とそれを実践する際の考え方のプロセスの取得に向け、町が費用の一部を支援する。 ③1名あたり50千円×20名=1,000千円 ④町民または保護者が町内にいる学生	保健福祉課	R2.4	R2.9	807,000	800,000	受講者数:16名 交付額:800,000円 諸経費:7,000円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で失業への不安や転職を検討している方への資格取得へのサポートに寄与した。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業始期	事業終期	総事業費	新型コロナウイルス感染症対応地方対応臨時交付金充当額	事業実施状況	効果検証
47	学校保健特別対策事業費補助金	<p>（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業）</p> <p>①②学校における感染症対策等にかかる消耗品の支給</p> <p>③木古内小400千円：消耗品400千円 木古内中400千円：消耗品400千円 計800千円のうち1/2(400千円)が国庫補助対象</p> <p>④小学校：1校、中学校：1校</p>	生涯学習課	R2.12	R3.3	59,136	1,000	<p>【小学校】</p> <p>キッチンタオル・除菌シート 15,645円</p> <p>ビニール手袋・マスク 21,485円</p> <p>【中学校】</p> <p>マスクスプレーボトル 22,006円</p>	施設内での感染防止と児童生徒の安心につながった。